

IV 質問紙調査の概要

※以下の表中で亀岡市及び全国の欄の数値は「そう思う」「だいたいそう思う」など、肯定的な回答の割合を示しています。

【小学校6年生】

1 学習について

数字は%

項目	亀岡市	全国
国語の勉強は好きだ	52.0	58.4
算数の勉強は好きだ	68.1	67.8
英語の勉強は好きだ	62.5	68.3
自分で計画を立てて勉強している	72.5	74.0
普段、1時間以上勉強している	61.5	62.5
勉強時間が30分未満	13.3	13.0
「算数が好き」についての項目は全国値を上回っている。「国語・英語が好き」については全国値を下回っている。「自分で計画を立てて勉強している」項目の数値は7割を超えているものの、家庭での学習習慣とともに全国値を下回っている。教科指導等における授業改善とともに家庭での学習の在り方についてその重要性を発達段階に応じて、児童に認識させる働きかけが必要である。		

2 家庭生活について

項目	亀岡市	全国
毎日、朝食を食べている	93.0	94.9
毎日、同じぐらいの時刻に寝ている	77.9	81.2
毎日、同じぐらいの時刻に起きている	89.1	90.4
新聞を週に1～3回程度以上、読んでいる	15.9	14.8
食生活、就寝・起床時刻は全国の傾向からやや下回る傾向である。新聞を読む児童の割合は全国値を上回っている。		

3 友達・地域との関わり

項目	亀岡市	全国
友達と協力するのが楽しいと思う	91.8	93.9
今住んでいる地域の行事に参加している	69.8	58.1
「友達と協力するのが楽しいと思う」項目については、全国値を下回る。しかし、地域行事の参加については、全国値を上回り地域の行事に参加し、地域社会とのつながりの深さが伺える。		

4 その他

項目	亀岡市	全国
自分にはよいところがある	75.0	76.9
将来の夢や目標を持っている	78.7	80.3
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	69.0	70.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	96.4	96.8
人の役に立つ人間になりたい	96.1	95.5
新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中、勉強の不安を感じたか	54.0	55.2

新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中、計画的に学習できたか	61.6	64.6
<p>ほとんどの項目で全国値をやや下回っている。自己肯定感の高揚・将来への展望・規範意識・人権認識等、「非認知能力」を高める働きかけが求められる。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中における児童の勉強に対する不安感は、全国値を下回っている。しかし、児童の不安感を再認識することとともに、今後の学級閉鎖等に対しても児童の学びを止めないようにICTの活用を充実させることが求められる。</p>		

【中学校3年生】

1 学習について

数字は%

項目	亀岡市	全国
国語の勉強は好きだ	47.8	60.8
数学の勉強は好きだ	53.8	59.1
英語の勉強が好きだ	46.8	56.7
自分で計画を立てて勉強している	61.1	63.5
普段、1時間以上勉強している	72.6	75.9
勉強時間が30分未満	12.7	9.9
<p>「数学・国語・英語が好きだ」という割合は全国値を下回っている。各校では言語活動を取り入れた授業改善を図っているところである。「自分で計画立てて勉強している」「普段、1時間以上勉強している」項目の数値は全国値を下回っており、教科指導等における授業改善と共に家庭での学習の在り方についてその重要性を生徒に認識させる働きかけが必要である。</p>		

2 家庭生活について

項目	亀岡市	全国
毎日、朝食を食べている	91.1	92.8
毎日、同じぐらいの時刻に寝ている	76.1	79.8
毎日、同じぐらいの時刻に起きている	92.3	92.7
新聞を週に1～3回程度以上、読んでいる	8.3	10.4
<p>基本的な生活習慣の定着率が全国値を下回っている。新聞を読む生徒の割合も全国値を下回っている。</p>		

3 友達・地域との関わり

項目	亀岡市	全国
友達と協力するのが楽しいと思う	90.4	93.3
今住んでいる地域の行事に参加している	43.5	43.7
<p>「友達と協力するのが楽しいと思う」項目については、全国値を下回っている。地域行事への参加は小学校に比べるとその数値は下がっている。部活動や塾等で地域の行事に参加する機会が減ることも要因の一つとして考えられる。</p>		

4 その他

項目	亀岡市	全国
自分にはよいところがある	69.5	76.2
将来の夢や目標を持っている	61.7	68.6
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	57.1	65.9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	95.3	95.9
人の役に立つ人間になりたい	91.5	95.0
新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中、勉強の不安を感じたか	57.7	62.8
新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中、計画的に学習できたか	31.5	37.6

いじめに関する認識は全国値と同程度であり、改善の傾向である。また、将来に対する展望や自己肯定感においては全国値を下回っている。学校での教育活動と共に家庭・地域社会が連携し生徒の非認知能力を高める働きかけが求められる。

新型コロナウイルスの感染拡大による休校期間中における生徒の勉強に対する不安感は、全国値を下回っている。しかし、生徒の不安感を再認識することとともに、今後の学級閉鎖等に対しても生徒の学びを止めないようにICTの活用を充実させることが求められる。